小田原のご当地電気を「つくる」
ほうとくエネルギー株式会社、誕生。

2012年12月誕生。38社の地元企業が出資。
市民ファンドで再生可能エネルギー発電所をつくる、
地域密着のエネルギー会社。

<table>
<thead>
<tr>
<th>メガソーラー市民発電所</th>
<th>屋根貸し太陽光発電</th>
<th>0円ソーラー</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>小田原の山林にある 1.7MWのメガソーラー</td>
<td>小学校などの5つの公共施設の屋根を借りて太陽光発電を設置。164KWの発電量</td>
<td>商業施設に初期費用0円で太陽光発電を設置。30KWの発電量</td>
</tr>
</tbody>
</table>

合計で1.9MWを発電中（2017年6月現在）。この発電量は、戸建住宅580軒分に当たる。
小田原市民による、小田原市民のためのご当地電気チームワーク。
もっと、小田原のためになる
電力供給のしくみをつくりたい。

自由化前
小田原市内の電気代

新電力
電気代が安くなる
小田原市内の電気代

湘南電力
電気代が安くなる
売上の一部を活用
小田原市内の電気代

円 市外へ流出
円 市外へ流出
円 市内でまわる
市内の市立幼稚園、小・中学校 42 施設に採用されました！

「小田原市エネルギーを地域自給の促進に係るモデル事業公募型プロポーザル」にて、最優秀提案者として選定されました。2017年12月から、省エネ効果が高いと想定される市立幼稚園、小中学校 42 施設を対象に電力を需給しています。

地域のメリット
① 電気代が安くなる
② 地域にお金がまわる
③ 蓄電池や太陽光パネルを無償提供
→ 防災時にも活用できる

市内の市立幼稚園小中学校 42 施設に電力供給

7つの小学校に発電施設を無償で設置